

K.T 様 40歳 男性 入院期間 H28年 6月 23日～8月 22日

重症アトピー性皮膚炎もすぐに改善

幼少児はアレルギー性鼻炎程度のアレルギー症状で、アトピー性皮膚炎はなかったが、高校 2 年から顔頸部にアトピー性皮膚炎が生じ、市販のステロイド外用薬で対処していた。

大学 2 年の頃、顔中心に悪化傾向となり強いタイプの外用薬に変更したが、コントロール不良となり 2 週間の入院治療を受け皮膚炎は改善。

暫く通院したが、その後は安定し数年は無治療で過ごせた。

24 歳 転居後、顔を中心に症状が悪化したためステロイドを再開。そのうち温泉療法で効果が得られ 1 年で改善し、ステロイドも不要となり、温泉療法も途中で中断した。

H27 年 9 月、転職からアトピー性皮膚炎が悪化し、ステロイド使用を再開して改善。H28 年 4 月に退職し実家に戻ったが、頸部、腕を中心にアトピー性皮膚炎再発。

ステロイド外用を再開したが全身性に悪化した。以前効果があった温泉療法を試みたが改善が得られず、インターネットで当院の HP を知り入院。

2 ヶ月の入院治療であったが BSC の効果は一目瞭然で、入院から 1 ヶ月で TARC は 1/6、POEM は 1/3 まで低下。退院後も BSC を継続し一層の改善が得られている。

BSC による自然免疫アジュバンド療法は、アトピー性皮膚炎の発症原因である、乳児期の免疫形成期に多種のバクテリアに接する事がなかった事に起因するアトピー性皮膚炎の免疫不全を是正します。免疫変換によりアトピー性皮膚炎を改善させる唯一の原因療法であり、ステロイドやカニューリンインヒビター（プロトピック等）を使用した免疫抑制による対症療法とは大きく異なります。

自然免疫が復活する事により、アトピーのみならず細菌やウイルスに対する感染防御機能や、癌を抑制する免疫機能も改善し、より一層健康になります。

治療根拠が明確でない民間療法とは違い、少なくとも 95% の症例で明確な効果が得られます。

	基準値	2016/6/21	2016/7/22	2016/8/17	2016/10/13 (外来時)
TARC	450 以下	6769	1140 ↓	630 ↓	322 ↓
LDH	120～245	421	233	196	169
IgE	170 以下	3195	2079 ↓	1651	1865
好酸球	7%以下	18.1	14.9 ↓	9	0.8 ↓
POEM (自覚症)	最重症者 20～28	28	8 ↓	2 ↓	2

2016.6.21 → 8.17

